

平成 30 年度 第 3 回 明石市財政健全化推進協議会

議事録

日時 2019 年(平成 31 年) 2 月 7 日(木) 10:00~10:30

場所 議会棟 2 階第 3 委員会室

明石市

次 第

1 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について

2 その他

【資料】

資料 1 財政健全化に向けた各会派からの提案 及び 市の考え方

出席者 委員 市議会側

千住座長、山崎議員、松井議員、永井議員、宮坂議員

委員 行政側

森本副市長、和田副市長、宮脇政策局長、岸本総務局長、中島総務部長

委員以外の出席者

横田企画部長、島瀬総務管理室長、箕作財務室長、石田教育委員会事務局次長、松永財政健全化担当課長、林施設包括管理担当課長

傍聴者 市民 1名

1. 議事

市議会各会派からの提案に対する市の考え方について
松永財政健全化担当課長より資料1について説明

座長：それでは、資料1「財政健全化に向けた各会派からの提案及び市の考え方」を踏まえて、何か意見や質問があればお願いしたい

委員(議)：資料1、1ページの小・中学校の水泳授業でスイミングスクールを活用について、市の考えとしてプールを新たに新設するには財政負担が非常に大きいと言いながら、民間プールの活用については、先進自治体の事例を研究するという回答にとどまっているのはどうしてか。

出席者(行)：実際にプールを新設するとなれば、大きな財政負担となり、民間プールを活用すれば費用削減の効果が期待できるとは考えている。ただし、移動手段の確保等の問題もあり、課題も含めて検討していく。

委員(議)：教師の負担という問題もある。またそれ以上に猛暑で水泳の授業自体ができないということもあったことから、先進事例でうまくいったものがあれば、研究ではなく、検討していくべきと考えている。

委員(議)：他市において成功した事例もある一方で、モデル事業として実施をしたが、教育委員会が言うような課題があったため、市全体での実施には至らなかったという事例もあると聞いており、課題を踏まえた検討を行うという教育委員会の考え方としては理解できる。

委員(議)：全市についてということではなく、老朽化したプールについて、今後問題が出てくることはわかっており、財政負担も考えれば検討していくべきであると考えている。

委員(議)：小中学校のプールについては、施設だけではなく、技術指導の問題もある。過去には子供がなくなったという事故もあり、指導を専門家に委ねることも一つの方法だと思う。

委員(議)：老朽化したプールに特化してのご意見かと思う。今後プールは新設しないという方針を教育委員会が打ち出したとは記憶している。一番大事なことは、先生、こどものニーズがあるかということだと思う。全体での研究ということではなく、個々の学校の事情や意見を教育委員会で把握し、弾力的に学校教育に生かしていくことが大切である。

委員(議)：資料1、2ページの少年自然の家について、明石市に隣接した垂水区の開発について、神戸市が予定しており、神戸市も明石市の子育て施策を意識している。兵庫県が再開発を検討中の明石港周辺についても、明石市として県と協力して、魅力を打ち出さないといけないのではないかと。

出席者(行)：明石駅前再開発ビルについては、他市に先行した子どもを中心とした魅力ある施設づくりとして注目を集め、それが今の明石の元気の契機となったと認識している。まちづくりは継続性と発展性が非常に大事だと考えている。今後、県事業ではあるが明石港の再開発、さらにJT跡地、西明石の再開発についても、さらなる魅力向上、にぎわい向上に努めていく。県ともしっかりと連携して進めていきたい。

委員(議)：資料1、2ページの市営住宅の見直し及び空き家の活用について、住宅困窮対策としての市営住宅とのバランスを考慮しながら、違う用途にも使っていくということだが、市営住宅はもう建設しないということか。集約化と一定戸数の確保についてはどのような考えか。

出席者(行)：市営住宅の今後の集約の進め方について、約2,000戸ある市営住宅のうち昭和57年以前に建設された住宅約700戸については集約していき、約1,300戸が残るとしていることを考えている。集約の方法については、現在住まれている市営住宅から別の市営住宅への住み替えをお願いしているところであり、居住者がいなくなった住宅から順次廃止していくことを考えている。新たな市営住宅の建設については計画していない。

委員(議)：そのような市の考え方は聞いている。ただ、市営住宅に対する市民の要望はそうではないのではないかと。住宅への困窮度を踏まえると、明石市内に2万戸の空き家があり、そのうち5千戸について活用ができると聞いている。空き家対策も緊急の課題であり、空き家を活用することも市民に住みやすいまちづくりを提供することにつながる。空き家対策が先送りされているのではないかと考えている。

出席者(行)：空き家対策が市政の上で重要であるというご意見かと思う。今回の市の考え方については、市営住宅の集約化に関することであり、集約化を促進するうえでも民間の空き家の活用が重要であると考えている。一方、空き家対策についても、有効な施策の検討を進めていく。

委員(議)：資料1、12ページの明石駅前再開発ビルの屋上に飲食店等を開設について、

会派でも議論し、いい知恵までは出なかったが、私も利用したところ、屋上は眺望がよく非常に良いところである。管理組合が屋上の活用について検討しているとのことだが、市としても絡んでいく必要があると考えている。管理組合が新たに企画運営をしていくような状況なのか。

出席者(行)：再開発ビルの屋上は眺望もよく、非常に魅力的な空間であると市も管理組合も考えている。その活用についてはモデル事業として、文具メーカーとコラボした天体観測会の実施もされており、ワゴンでの飲食提供の検討もしていただいている。収益面、安全面の問題も含め、管理組合と引き続き話し合いを進め、調整していく。

委員(議)：安全面の検討は必要である。会派でも、出店希望者を募るといった方法も含め、幅広い層に明石へ行ってみようかなと思ってもらえるようなものを実施してはどうかとの意見があった。

座 長：他に何か意見があればお願いしたい。

【意見なし】

座 長：ないようなので、意見交換は終結する。それでは次に、市の考え方を踏まえて、市議会としてのまとめ方について協議したい。前回の会議で私から、市の考え方を踏まえて各会派からの意見を議会全体として取捨選択すべきかどうかを検討したいと提案させていただいた。ただ、本日の意見交換の中では、個々の提案に対して反対の旨を表明する意見はなかったように思う。については、今回各会派からいただいた25項目の提案については、全項目を議会全体からの提案としてまとめたい。ご異議ございませんか。

「異議なし」

座 長：ありがとうございます。それでは、全項目を議会全体からの提案としてまとめたいと思う。なお、提案書の体裁や議会から市への提出方法等については、座長である私に一任いただければと考えている。ご異議ございませんか。

「異議なし」

座 長：それでは、各会派から提案いただいた事項については、議会からの提案として市に提出させていただく。これで今年度の議事については全て今回で終結することとなったので、第4回の協議会は実施しないこととしたい。

2. その他

座 長：他に何か意見があればお願いしたい。

【意見なし】

座 長：これで本日の議事は終了とする。今回が今年度、最終の財政健全化推進協議会となった。平成25年度から、市行政、市議会がともに汗をかきながら財政健全化を進めてきた。そんな中、今回の市長の辞職に伴う選挙については、新たな財政負担が発生することも事実である。こういった点も重く受け止めて、今後の財政健全化、市政運営に臨んでもらいたい。

今年度は、昨年度に引き続き市議会各会派からの提案という形で当協議会を運営してきたが、今回で一定の区切りとすることができた。委員のみなさまには、会議の運営にご協力いただき、お礼を申し上げます。以上をもって、平成30年度第3回明石市財政健全化推進協議会を終了する。

閉 会